

志の言の葉(第2集)

～大切な人に伝えたい私の思い～

【題字】香月小学校6年 尾川健心



志布志市教育委員会 編

目次

はじめに

親へ
・
・
・
・
・

P
1

）

P
20

家族へ
・
・
・
・
・

P
21

）

P
29

先生へ
・
・
・
・
・

P
30

）

P
35

親から
・
・
・
・
・

P
36

）

P
39

地域の方へ

夢や目標
友人へ



P
40

）

P
45

おわりに

編集後記

はじめに

志布志市教育委員会 教育長 福田裕生

前年度に発刊した『志の言の葉』（第一集）は、各方面から大きな反響をいただいております。今年度も『志の言の葉』大切な人に伝えたい私の思い』（第二集）』として作成を進め、ここに完成しました。皆様にお届けできることを大変うれしく思います。

本文集には、市内の全小学校・中学校から選出された小学一年生から中学三年生までの子供たちの百四十点を掲載しています。さらに、今回は、保護者からも募集したところ十一名の応募がありました。子供たちや先生方に伝えたい思いや言葉が綴られています。

いつも家族のために汗水流して仕事をがんばってくれている親への感謝、素直な態度がとれない自分の苦しみや思い、何気ない一言が助けとなった友達への感謝、先生と出会えたことへの感謝の思いなど……。どの作品も自分なりの言葉で、家族や先生、そして地域の方々に向けて、今、伝えたい思いとして言の葉がつむがれています。その一語一語の言の葉が、読む者の心を揺さぶり、読み終えた後に心温まる余韻が残ります。

ぜひ、多くの皆様に読んでいただき、今を生きている志布志市の子供たちに思いを巡らしていただきたいと思えます。そして、志布志市の子供たちに温かいまなざしで、時に励まし、時に戒めの言葉を届けつつも、期待をかけていただきたいと願っています。私たち大人は、この子供たちに、「志布志市の未来、日本の明日」を託すのですから。この文集が、明日への元気と豊かな未来づくりへの小さな一歩を踏み出すきっかけにでもなれば、誠に幸いです。

令和五年三月一日

親へ

お母さんへの感謝しゃ

松山小学校三年

草ノ瀬 穂香

お母さんがいつも、わたしたちにやさしくしてくれただから、毎日が安心してくらせるようになったよ。学校から帰ってきて、おちこんでいた時も、お母さんのえ顔を見ると、おちこんでいたことなんてすぐにわすれられたよ。お母さんがいつもわたしに、やさしくしてくれるから、お友だちもふえだし、毎日安心して、楽しく、くらせるようになったよ。本当に、いつもやさしく、わたしにたくさんのお話をしてくれてありがとう。お母さんがいるから、いつもじゆう実した、楽しい三百六十五日をすごせているよ。お母さん、いつも本当にありがとう。

産んでくれてありがとう

松山小学校六年

山下 琥李

ぼくがそう思ったのは保育園の時からずっとだ。保育園や学校では、たくさん友達でできた。友達と遊んだり、お話しをしたりできてとても楽しかった。ぼくが二年生のころ六年生の人に「サッカー部入らない？」と聞かれたので一回見学に行ったらとても楽しかった。サッカーでも友達ができて毎日が楽しい。夏休みにはサッカーキャンプがある。ぼくは、六年生なので今年で最後のキャンプ。けれど雨がふって楽しみにしていた川遊びはプールになった。けど一ぱく二日でいい思い出になった。この楽しかった日があったのは、ぼくのことを産んでくれたお母さんのおかげ。これからもずっと感謝したいなと思います。

おとうさんとおかあさんのしごと

泰野小学校二年

前はら しゅもん

ぼくのおとうさんとおかあさんは、おぼうさんです。なくなった人のおそうしきや、めい日におきょうを読むのがおしごとです。いっぱいべんきょうしないといけないし、たいへんみたいだけど、ぼくも、大きくなったら、あとをつげるように、いっぱいべんきょうをがんばろうと思います。

フアイト

泰野小学校三年

別府 想

今日もお父さんとお母さんがヘタヘタでかえってきました。いつもあせがどぼどぼ出てかえっているの、ぼくは、「だいじょうぶ？」と言いました。お母さんが「だいじょうぶだよ」と言うけれどぼくはしんぱいしました。いつもそう思います。ぼくはお母さんに、すこしやすんでほしいです。ぼくが大人になったら、お母さんたちがたくさん休めるようになって、家族でいっぱいよこうにつれていってあげたいです。それまで、ぼくもたくさんがんばるよ。

大好きなお母さんへ

泰野小学校五年

本村 優晴

いつもはずかしくてなかなか言えないけど、手紙ならお母さんへ感謝を伝えられると思えました。いつも塾の行き帰りやピアノ教室、学校に送ってくれてありがとうございます。いつもおいしいご飯や弁当をつくってくれてありがとうございます。いつもぼくの音読を聞いてくれてありがとうございます。この間の運動会も、いっぱい応援をしてくれて、とてもうれしかったです。またおいしいご飯を作ってください。仕事をがんばってください。夕涼み会にも来てください。お母さん大好きです。

ままへ

尾野見小学校一年

別納 杏奈

まま、いつもありがとうございます。せんたくものをほしてくれたり、おんどくをきいたりしてくれてありがとうございます。だいすきだよ。

お父さんのしごと

尾野見小学校二年

上村 結翔

ぼくが、今回かんしゃの気もちをつたえたいあい手は、お父さんです。お父さんは、いつも家ぞくのためにがんばってはたらくてくれているからです。ぼくのお父さんは、のうぎょうをしています。夏のあつい時、冬の風のつめたい時も一生けんめいにはたらくてくれています。それを見てぼくは、いつもお風呂をわかして、じゅんぴをしてお父さんが帰ってくるのを「ありがとうございます。」とまっています。

おかあさんありがとう

尾野見小学校三年

前田 真之介

いつもおいしいごはんを作ってくれてありがとうございます。おかあさんの作るごはんで一番すきなものは、おやこどんです。あまくて、たまごの味がしておいしいです。いつもせんとくものをしてくれてありがとうございます。おかあさんがほしてくれた洋服はいいにおいで、ほしていると部屋の中に、においがとびちって部屋中いいにおいです。いつも、食つきあらいでくれてありがとうございます。お母さんがあらったきれいな食つきは、ひかりにあたるとピカピカ光っているように見えます。いつも食つきあらいがとう。おかあさんは、いつも食つきあらいを夜おそくまでしているのです。これからつだいたいです。

パパへ

志布志小学校一年

こにし まよ

パパ、よるごはんいつもつくってくれてありがとう。たまごやきつくってくれてありがとう。パパのたまごやきは、ふわふわとろのたまごやきでおいしいです。おしごとがんばってくれてありがとう。わたしのパパは、こんやくをつくるおしごとをしています。わたしのパパのこんにやくは、おでんにいれるとおいしいです。パパがおやすみになったら、パパとゆうえんちにいきたいです。ダグリゆうえんちにつれていってください。

おとうさん、ぼくは、おおきくになったら

志布志小学校一年

はまさき

みらい

おとうさん、ぼくは、おおきくになったら、レストランのコックさんになりたいんだ。だって、おとうさんむかしレストランのコックさんやってたもん。いまは、ゆうびんきよくのひとだけど、おいしいごちそう、みんなにつくってるよね。おおきなおさかなさばくところ、わくわくするよ。このあいだは、いのししをさばいてたよね。ちやはらわたがきもちわるかったけど、さっさっさあとかたづけていた。かつこよかった。いまは、みているだけだけど、おとうさんにおそわつてりょうりがうまくなりたいです。そしたら、みんなえがおになるからね。

みんなに感しゃ

志布志小学校四年

坂口

怜太郎

ぼくは、お父さんに感しゃの気持ち伝えます。ぼくのお父さんは、朝早くから仕事のじゅんびをして、げん場に行つて暑い中仕事をがんばっています。いそがしくて、ぼくたちが朝ねぼうした時は車で送ってくれます。休みの日は、車でいろんなところ連れて行ってくれたり、おいしいものを食べさせたりしてくれます。お父さんは、よくぼくに「ビール持ってきて」とたのんだりするので、なんでぼくにばかり言うの、と思っていたけれど、仕事をがんばってつかれているからなんだね。いつもお仕事がんばってくれてありがとう。ぼくも大人になったら、お父さんみたいに仕事を一生けん命がんばって、お父さんにおん返しをしたいです。

パパ、いつもありがとう

志布志小学校五年

小林 洸絆

ぼくのパパは、おはかを建てたり、おそう式の仕事をしたりしています。当番で会社にとまったり、お通夜で遅く帰ってきたりして、とても大変そうです。家族のためにがんばってくれています。そんないそがしい中でも、しゆく題を教えてください、いっしょにゲームをしてくれたりします。ぼくが言うことをきかない時は、鬼のようにこわいけど、ぼくはパパが大好きです。そして、仕事をがんばってくれているパパをそんなけいしています。ぼくも大人になったらパパみたいになりたいです。そして、パパとママを少しでも、らくさせてあげたいです。いつもありがとう。

お父さんお母さんありがとう

志布志小学校六年

坂口 愛依

お父さん、お母さん、私を育ててくれてありがとう。お父さんは、休みの日も朝早くからお仕事をがんばってくれてありがとう。おかげで、色々な物を買うことができるのでうれしいです。お母さんは、四人の子どもをがんばって産んで、子育てをしてくれてありがとう。おかげで、たくさんのかわいい弟ができ、いっしょに遊ぶことができるのでうれしいです。お父さん、お母さんが色々なことをがんばってくれたので、私はこんなに大きく育ちました。お父さんとお母さんには、たくさん感謝しています。これからは、お父さんやお母さんのように、いい人になれるようにがんばり、いつか恩返しができるようにがんばりたいです。

かみをむすんでくれてありがとう

香月小学校二年

深見 和花

いつもかみをかわいくむすんでくれてありがとう。お友だちが、「のど花さんのかみきれい。」と言っているよ。お母さんがむすんだかみは、ほっとするんだあ。かみをむすんだら、気もちがわくわくするよ。いつもおしごとがあるけど、いつもわたしのためにかみをむすんでくれてありがとう。かみをむすんでくれるおかあさんが大好きです。これからもかみをむすんでね。

ママ、がんばってね。

香月小学校二年

勝目 蛍

いつも、朝や夜にごはんをつくってくれて、ありがとう。ごはん、おいしいよ。きょうのしごとも、がんばって。気をつけてしごとしてね。つかれたときは、きゆうけいして、そんなにうごいたりしないでいてほしいな。いつも、おうえんしているから、がんばってね。ぼくが、ねつがでたとき、しんぱいしてくれて、ありがとう。ぼくのことを手つだってくれるから、とてもうれしいよ。うんどう会はがんばるよ。おうえんしてね。

お母さんいつもありがとう

香月小学校三年

千代留 結那

わたしのお母さんは、学童で先生をしています。夜帰りがおそくなることもあります。それでも、ごはんを作ってくれたり、洗たく物をしてくれたり、わたしのべんきょうを見てくれます。それなのに、わたしは、お母さんとけんかをしてしまいます。お母さんの言っていることは、正しいと思っっているのですが、つい言い返してしまいます。「お母さんごめんね。」いつも仕事と家のこと大へんなのに、わたしたちのためいろいろしてくれて感しゃしています。「お母さんいつも、本当にありがとう。」

かくされた本当のおもい

香月小学校五年

花嶋 日向

私は、いつも思ったことを口に出さない。それで、いつもお母さんにおこられる。いつもいつもこうやって「日向には聞こえる耳があるでしょ、しゃべれる口があるでしょ」と言われる。その事を言われた後ちゃんと言に出すが、どうしても言えないことがあった。それは「ありがとう。」だ。注意してくれたりせんたくしてくれたり、私のわがままを聞いてくれたり。それでも小さい声でしか、「ありがとう。」は言えなかった。どんなに強くおこつてきてもそれは私の事を想って言ってくれてたんだと思う。「ありがとう。」その一言が私には「かくされた本当のおもい」なのであった。

お母さんのおかげ

香月小学校六年

吉原 芹菜

お母さんいつもありがとう。毎日あたりまえのようにご飯をつくってくれて。毎日あたりまえのように習い事に行かせてくれて。よく考えると、私はお母さんに感謝しなければならぬことが数えきれないほどある。けれど、私は感謝の言葉を伝えられていない。何から伝えればいいのか。怒ることもあるけれど、それも私のため。そう考えてみると、お母さんがやっていることはすごいことだ。私には、そういうことは、きつとできないだろう。少しのことでもいいから、「ありがとう。」と感謝の気持ちを伝えてみようと思う。

お母さんに、一言。

香月小学校六年

渡口 愛子

私が、初めて一年生になつてからお母さんは、どんどんきびしくなっていた。私は、二年生のとき、かけ算九九がきらいだった。でもお母さんは、かけ算九九を夜遅くまで教えてくれた。今思うと小さかった私がこんなに大きく成長できたのは、お母さんが夜遅くまで勉強を教えてくれたりきびしくしてくれたりしたこと、私がこんなに大きく成長できたんだな、と私は思った。次は、中学校・高校などにも行かないといけない。いままでささえてくれたお母さんに、また、どんどん成長していく私を見てほしいです。

お父さんお母さんありがとう

潤ヶ野小学校五年 内 駿大朗

お父さんいつも働いてくれてありがとうございます。おかげでいろいろな物が買えるよ。宿題のアドバイスをくれてありがとう。おかげで宿題がすぐおわるよ。お母さんいつもおいしいごはんをつくってくれてありがとう。おかげでいつも元気にすごせているよ。本をいつも読んでくれてありがとう。おかげでいつもたくさんの本が読めるよ。ぼくは、お父さんとお母さんみたいに人にやさしい人になりたいです。お父さんとお母さんみたいに、けんかをしないようにしたいです。お父さんとお母さんたちのおかげで、元気に楽しくすごしています。

おかあさんへはじめてのてがみ

安楽小学校一年 角田 隆翔

ぼくのおかあさんは、まいにちほいくえんでおしごとをしながら、おうちのおしごとががんばっています。ほいくえんでは、一さいと二さいのこどもたちのおせわをしています。やさしいおかあさんにぴったりのおしごとだとおもいます。おうちでは、せんたくやそうじ、りょうりなどのおしごとをがんばっています。おかあさんのりょうりでいちばんすきなものは、ハンバーグです。せかい一おいしいです。もうすぐ、おかあさんのたんじょうびなので、このてがみをおくることにしました。「おかあさん、これからおとうさんと、ぼくと三にんでなかよくたのしくすごそうね。いつもありがとう。」

お父さん、いつもありがとう

安楽小学校二年 船倉 爽真

お父さん、いつもぼくたちのために、おしごとをがんばってくれてありがとうございます。毎日、大きなトラックにのって、夜おそくまでおしごとをしていて、すごいなと思います。つかれすぎないでね。ぼくも大きくなったら、お父さんみたいにトラックにのっておしごとをしてみたいです。それから、お休みのときはいつもぼくたちをあそびにつれて行ってくれてありがとう。お父さんとお出かけするのが、ぼくはとてもうれしーいし、楽しいです。これからもいろんなところにつれて行ってね。お父さん、いつもありがとう。大すきだよ。

お母さん、本当はね

安楽小学校三年 有村 寧々

わたしは、いつもいろいろおそい。とくに、おふろにはいる時がおそい。でもね、本当はね、早くおふろにはいりたいの。いろいろ早くしたいの。でもね、明日のじゅんぴをしているうちにどんどん時間がすぎていくの。わかってよ、お母さん。わたしは、お母さんの言うことをあまりきかないことがある。それはね、学校でいろいろなことがあって、つかれているからなの。つい、いらいらしておこっちゃうの。でもね、本当は、学校であったことの話をしたり、いっしょに工作をしたりして遊びたいの。お母さん、いつもおこってごめんね。本当は、大すぎだよ。

お母さんのりょう理はしあわせの味

安楽小学校三年 山下 叶愛

お母さんの作るごはんが一番好きなのは「ピーマンの肉づめ」です。カレー味でジュワツとジューシー。とつてもおいしいです。お母さんの作るごはんを食べると、しあわせな気持ちになります。おばあちゃんのおりょう理もすきだけど、やっぱりお母さんの作るりょう理が一番です。いそがしい時は、たまにおべん当を買う日があるけれど、それでもいいです。でも、いそがしい時はわたしもお手伝いするから、おいしいごはんを作ってほしいです。わたしは、おりょう理をしたことはないの、いっつかやってみたいです。その時は、お母さんに食べてほしいです。おいしくない時は、ごめんなさい。でも、おいしかったらいっしょにいっぱい食べたいです。

母への気持ち

安楽小学校四年 井手上 千尋

最近、反こうする事があるけど、大好きなお母さん。料理に洗たく、お仕事に大変だけど、いつも私の話を聞いてくれるお母さん。努力をして、理科のテストで百点をとったときや、短きより走で一位をとったときにほめてくれるお母さん。たまに、家で勉強をしていないときや、努力が足りず、テストの点数が低かったときにしかってくれるお母さん。まだまだ甘えんぼうの私だけども仲良くしていようね。これから高学年に向けて漢字やスポーツをがんばるから、おうえんしてね。

おかあさんいつもありがとう

田之浦小学校一年 ふくなが たく

おかあさん、いつもぼくのことをたいせつにしてくれてありがとう。ぼくがこうしていのちがあるのも、おかあさんのおかげだよ。ぼくもおかあさんがいてくれて、ほんとうにうれしいよ。おかあさんがいなかったら、ぼくはいなかったはず。だから、おかあさんがいてくれて、ぼくもこうやっていきているんだよ。ぼく、おかあさんのことがずっと大すぎているよ。

いつもありがとう

田之浦小学校四年

梅沢 土筆

わたしは、お母さんにありがとうと伝えたいです。いつもとってもおいしいご飯を作ってくれてありがとう。いつも家事をしてくれてありがとう。いつもわたしにやさしくお話を聞いてくれてありがとう。いつもわたしにやさしくハグをしてくれてありがとう。ほかに、いっぱいありがとうと言いたいです。わたしは、お母さんに楽しんでほしいので、お手伝いをいっぱいしようと思います。次は、わたしがお母さんになって、料理や家事などをがんばりたいです。

おかあさんいつもありがとう

伊崎田小学校一年

村久木 燿斗

いつもよるごはんとあさごはんをつくってくれてありがとう。いつもがっこうのじゅんびをてつだってくれてありがとう。いつもおしごとをがんばってくれてありがとう。いつもいろんなりょうりをつくってくれてありがとう。おおきくなったら、ぼくがりょうりをつくってあげるね。

わたしの大切ですてきなヒーロー

伊崎田小学校三年

牧之瀬 楓

お父さん、いつもありがとう。やさしいお父さんが、わたしは、大好きです。明るくて、れいせいで、おもしろくて、やさしいお父さんは、何より、家族を大切にしています。そんなお父さんは、わたしにとつて、ヒーローです。すてきな、ヒーローは、いつもわたしを、見まもってくれています。わたしを、大切にしてくれているヒーローは、わたしの、大切な大切なお父さんです。いつも、ありがとう。やさしくきびしくそだててくれてありがとう。わたしは、お父さんに、まもられていたから、これからは、わたしがお父さんをまもりたいです。やさしいヒーローは、わたしのじまんのお父さんです。お父さん、大好きだよ

わたしのお母さん

伊崎田小学校四年

西 快理

今日もお仕事おつかれさまでした。お母さんのごはんを食べるとつかれがいやされます。せんたくものをほしてくれたおかげでぼくの服はしわもなくなってきました。学校のじゅんびもいつも手伝ってくれて、一回もちこくしたことがあります。宿題はぼくが、わからないことがあったらすぐに教えてくれます。いつもぼくのためにがんばってくれてありがとう。

伝えたいこと

伊崎田小学校五年

坂下 愛心

わたしには、思いを伝えたい人がいます。それは、お母さんです。ほ育園年中さんの時、わたしは、ひっこしをして、違うほ育園に通いだしました。その時、「行きたくない。」と泣きだしました。そしたら、すぐにお母さんが声をかけてくれました。「お母さんもみんながんばっているんだから行きな。」と声をかけてくれたのを今でもおぼえています。それで、がんばってほ育園に行けました。色々なことができるようになったり、お友だちができたり、それで今のわたしがいると思います。ありがとう。

いつもすごいお父さん

蓬原小学校三年

上野 清翔

お父さんはいつも、がんばっていてすごいです。仕事の時はみんなを助けるために、一生けんめい活動に取り組んでいるお父さんが、とてもすごいです。家にいる時は、ぼくたちが学校にいつている時、せんとく物やそうじをしてくれれます。お父さんは、仕事をしていてつかれてるはずなのに、家族のためにがんばってくれます。ぼくたちが帰ってくると、一緒にあそんでくれたりしゅくだいをおしえたりしてくれる、お父さんがとっても大すきです。ぼくも、お父さんにいっぱいおかせしがしたいです。お父さんいつも本当にありがとう。ずっと大すきだよ。

ありがとう

蓬原小学校五年

福元 咲季

わたしは、いつもお母さんとお父さんに伝えたいことがあります。それは、いつもありがとうございます。理由はいつもご飯を作ってくれたり、たくさんはたらいてくれるからです。お仕事でつかれているのに、ご飯を作ってくれたり自分のことを手つたってくれるのでいつも、ありがとうございます。わたしも、いつもありがとうと思っているだけではなく、お母さんとお父さんにありがとうと言われる方になりたいです。

お父さんへの感謝

野神小学校六年

峯 悠護

いつも仕事をがんばってくださいありがとうございます。本当は、お父さんとケンカしてイライラした時にふざけんなおやじといたいけどぼくは、お父さんのことが大好きなのでいいません。ぼくは、父がこれからもいつも仕事をがんばっていくと思うので、ぼくは長男として次男、三男、長女がおこられることを少なくして、お父さんを少しでもらしくにさせたいです。

お父さんへの感謝の気持ち

野神小学校六年 山重 かなな

いつも、仕事をがんばっていてくれてありがとうございます。いつもそっけない態度ではなしているけどお父さんのことが、大好きです。そしてこれからも、たくさんめいわくなどをかけるかもしれないけど、これからもよろしくおねがいます。何年たっても、おもしろくて、元気なお父さんでいてください。

毎日の思い

野神小学校六年 奥吉 奏太

ぼくは、毎日お父さんと、お母さんのおかげで笑うことができます。お父さんは、一緒に五目並べをしてくれますね。ぼくは、まだまだただけで勝つためにこれからも一緒に勝負してください。お母さんは、毎ばん笑わせてくれますね。いやなことがあっても笑わせてくれるから、いやな事がふき飛びます。お父さん、お母さん、いつもありがとうございます。

おとうさん、おかあさんありがとう

有明小学校一年 前原 羽叶

おとうさん、いつもおふろそうじをしてくれてありがとうございます。おかげでまいにちきれいなおふろにはいれてうれいす。おゆでゆっくりあたたまることができるので、わたしはまいにちげんきにすごせす。おかあさん、いつもよりをつくってくれてありがとうございます。5ねんかんたまごアレルギーでたまごがたべられなかつたけど、たまごなしのりよりをたくさんつくってくれました。おかげでたまごアレルギーをこくふくすることができました。やさいもすききらいがないのはおかあさんのおかげです。これからも、いっぱいおいしいうりよりをつくってください。

おかあさん、ありがとう。

有明小学校一年 上村 健将

いつも、ぼくのごはんをつくってくれてありがとうございます。いつも、ぼくのふくをあらうてくれてありがとう。いつも、ぼくのべんきようをみてくれてありがとう。いつも、ぼくのおむかえにきてくれてありがとう。いつも、ぼくとあそんでくれてありがとう。たまにわるいことをして、ごめんさい。おこられるときは、おかあさんがすこしきらいになるけど、やつぱり、おかあさんがいないときみしくなります。ぼくは、おかあさんがだいすきです。おかあさん、ありがとう。

ありがとう、おかあさん

有明小学校二年

二重 陽斗

ぼくのおかあさんは、とつてもすごいです。なつ休みのあいだに赤ちゃんをうんだのにごはんをつくってくれたり、せんたくをしてくれたり、みんなのおせわをしてくれます。あそんでばかりでおこられることもあるけど、お手つだいをするとごほうびにすきなおかしをかってくれます。まい日たいへんなおかあさん。たくさんお手つだいでたすけてあげたいです。妹のおせわもたくさんしたいです。いつもぼくたちのためにいろいろしてくれてありがとう、おかあさん。

ぼくのたいせつなおかあさん

有明小学校二年

古川 ゆづき

ぼくの大せつな人は、おかあさんです。どんな時も、ぼくのみかたでたすけてくれます。でも、わるいことをすると、きびしくしかってくれます。とつてもこわいです。たのしいことがすきなおかあさんとなると、ぼくもたのしくなります。こわいときもあるけど、たのしくてやさしいおかあさんがだいすきです。いつもありがとう。おしごとがんばってね。

お母さんが教えてくれたこと

有明小学校三年

山名 遼明

ぎょうぎと、学習にとつてもきびしいぼくのお母さん。とくに「字」の事を言うてくる。だけどいつのまにか先生や友だちに「字がきれいだね」とほめられるようになった。ぼくはすごくうれしかった。それに、テストの点数も良くなった気がする。おつちよこちよいのお母さんだけど、伝えてくれる事が大事な事だと気づかせてくれる。そんなお母さんの伝えてくれる事をもっと聞くからね。

ぼくが感謝を伝えたい人

有明小学校六年

吉川 寿頼

ぼくが感謝を伝えたい人は、家族と先生です。まず、家族で、父は毎日仕事に行きますが十二時ぐらいには毎回帰ってきてくれます。次に、母は、父といっしょに協力して、おいしい昼ごはんや夜ごはんをつくってくれます。そして、自分を除いて三人の兄弟は、いつもけんかして泣かせてしまう。それでも、また仲良くしてくれます。最後に、担任の先生や専科の先生などの先生をはじめとするいろんな先生方にたくさんのお話を教えてもらって、学ぶことが前より好きになりました。これらのことを含め、改めて感謝を伝えたいと思います。いつもありがとうございます。

がんばっているおとうさんへ

通山小学校一年

坂口 惇桔

おとうさん、おしごとをがんばっていますか。ぼくも、がっこうをがんばっています。おとうさんは、よるおそくまでしごとをしています。だけど、もつともつとおとうさんがんばってください。ぼくも、がっこうをがんばります。はやくおとうさんみたいなきんにくがほしいです。ぼくも、きんとれをがんばります。ぼくがつよくなったらおとうさん、いっしょにしようぶしてください。おとうさん、だいすきです。

だいすきなおかあさんへ

通山小学校一年

崎田 奈々

いつもおしごとをがんばっている、おかあさん。うちのおしごとまでぜんぶしてくれて、すごいです。おかあさんは、じぶんのしごとのほかに、おうちのしごともしているの、てっぺんです。だって、とつてもたいへんだとおもうから。このまえ、おとうさんがこっせつしていたときも、たいへんそうだったね。でもいつもやさしくて、わらっているね。わたしは、おかあさんがだいすきです。おかあさんみたいになりたいです。

だいすきなおかあさんへ

通山小学校一年

中川 結菜

いつもおしごと、ありがとう。おつかれさま。そうじ、せんたく、おいしいごはん、いつもいつもありがとう。おかあさんのおしごと、すごいね。しごとのくすりは、どんなだろう。カロナールやあまいくすり、にがいくすり、だしているのかをおしえてほしいな。おとうさんは、もうすぐなんきよくいくね。おとうさんがいないあいだ、わたしがおてつぱいをします。いもうとのせわは、わたしがやります。てがたりないときは、わたしがやります。おかあさんだいすき。

いつもがんばっているお母さんへ

通山小学校三年

藤本 愛海

いつも大切に、みまもってくれたり、おしごとや、ごはんを作ってくれてありがとう。数けんの分からないところがあつたとき、いっしょにかんがえてくれてありがとう。前、いっしょにカレーをつくつたとき、とてもたのしかったよ。また、作ろうね。息つぎのやり方をおしえてくれてありがとう。また、おしえてね。けがした時、とてもしんぱいしてくれてありがとう。こんな、わたしだけど、手つだつてほしいことがあつたら、たよりにしてね。わたしは、いつもがんばっているお母さんがとても大好きだよ。ずつと、元気でいてね。

大好きなお父さんへ

通山小学校四年

中馬 愛莉

わたしが生まれてから十年がたちました。お父さんはわたしが生まれる前からずっとお仕事をつづけてきました。お父さんはごはんを作ってくれたり色々な場所に行ってくれたり、遊んでくれました。つりをしたときは一ぴきもとれなかったけど楽しかったよ。いままではつかれたときかたもみなどをしてあげられなかったの、これからはたくさんしてあげたいです。いつもいつもありがとうごさいます。これからもたくさんくろうさせてしまってもいいけれど、ずっと見守ってください。お仕事がんばってね。

大好きなお母さんへのかんしゃ

通山小学校五年

矢野 結羽

いつもありがとう。私たちのために、いつもし事をがんばってくれて。そうだから、私たちは、今、いきています。私の勉強で、あきらめない力、どりよくする力、がんばっている力を見たいと思ってるでしょ。だから、こんど、私が見せてあげる。勉強の力を。そして、私にとつてお母さんは世界一大切なお母さんとしてまい日おもっているね。私が熱を出しても毎日守ってくれた、お母さんが世界一大好きだからね。これからも、おしごとをがんばってね。

家族を支えてくれている自まんのお父さん

通山小学校五年

坂井 夏葵

お父さんいつもお仕事おつかれさま。最近、芋がたくさんとれて帰ってくるのがおそくなっていますね。それでも朝早くおきて、会社に行くのは、すごく大変だと思います。先週の土、日も仕事で私は少しさみしい気もちになりました。お父さんの作るとてもおいしいごはんが食べられないと思うと、ふだんよりおなががとてもへります。でも、お父さんが私たちのためにはたらいっているのでもううれしいです。これからもうりせず、休みたいときは休んで、私の自まんのお父さんでいてください。

がまん

通山小学校五年

山重 友依

お母さん、私は、がまんができない。昔はそうでもなかったのに……。いつからこうなったんだろうと、ケンカするたびに思う。でも、時間がたつといつも母はだきしめてくれる。そんなことしても、いみがないってわかっただけでもしてしまおう。何度もケンカして、何度も家出した。行くあてもなく道をふらふら歩く。「おなかすいた」。けつきよく家に帰る。でも、お母さんは「おかえり」とやさしく声をかけてくれる。ごめんねお母さん。でもあともう少し待って、必ず時にはがまんできるように。

お母さんへ

通山小学校五年

春山 結菜

今まで十一年間、見守ってくれてありがとうございます。十一年間、忙しいのに、家事をしたり遊んだりしてくれてありがとうございます。新学期になって七つ目標を決めました。一つ目は、家事の手伝いをすることです。二つ目は、毎日、一時間、勉強することです。三つ目は、苦手な国語と算数の勉強をがんばることです。四つ目は、保育園の時より、じゆうなんができるようになることです。五つ目は、美容師になって夢を叶えることです。六つ目は、速く走れるようになることです。七つ目は、お母さんみたいになることです。いつもありがとうございます。

私のお母さん

原田小学校四年

山内 采寧

いつも帰ってきたら夜ごはんを作ってくれたり、そうじをしたりいそがしいお母さん。私がいやな気持ちになったときも、どんな時でもゆっくりおちついて話を聞いてくれるお母さんです。私は、そんなお母さんに、「いつもありがとうございます。」と思います。私は少し前に小さなお母さんになった事があります。いつもお母さんがやっていることと同じことをしました。とつてもつかれました。お母さんは、毎日こんなにつかれて帰ってきたのにまた、つかれるのだなあと思います。でもお母さんは私に「お母さんはつかれないよ。」っていいいます。でも私は、これからお母さんをたすけていきたいです。

いつもありがとうございます

原田小学校四年

小野 叶芽

お母さん、いつもありがとうございます。いつも、お父さんといっしょに家族のためにがんばってくれて、ありがとうございます。私は、お母さんが大好きだよ。いつもおいしい料理を作ってくれてありがとうございます。だめなことは、だめとちゃんとおこってくれてありがとうございます。そして、私を生んでくれてありがとうございます。私は、お母さんに「ありがとうございます。」と言われるのが、一番うれしいし、お母さんがわらってくれれば私も元気が出る。だから、これからわらって元気にすごしてね。いつも、ありがとうございます。そして、これからもよろしくね。

お父さん、いつもありがとう

松山中学校一年

下原 凜歩

お父さん、いつもありがとう。毎日のようにはたらいで、土日にはこっそり部活の応援してくれるお父さん。本当に感謝しています。ふだんは、けんかしてるみたいに、あまり話さないし、何かさけるような動きをしよう私。本当はもっとたくさんはなしたいなあ。そんな私にだって、部活で負けたとき、はげましの言葉。そして、さりげなく私を笑わせてくれる、そんなお父さんに感謝の気持ちでしかない。今まで本当にありがとう。これからも、家族を守るヒーロー的存在でいてね。これからも一生よろしく。

ありがとう

松山中学校二年

谷口 凜桜

お父さん、お母さんいつもありがとう。私の両親はたくさん仕事をして帰ってきて、いつも疲れています。帰宅した後、お父さんは掃除、お母さんは家事を毎日してくれます。それなのに、自分のことばかりでいっぱいになり、両親の手伝いが出来ない自分がいます。私はそれが悔しいです。なので、今までたくさん迷惑をかけてしまった分、手伝いや肩をもんであげるなどして、少しでも恩返しをしていき、自分の人生に後悔がないようにしたいです。そして、いつかありがとうと言われるようにしていきたいです。

いつもありがとう

松山中学校二年

阿瀬知 希

お母さん、いつも厳しいお母さんだけど、時に優しく、そして一緒に笑ってくれてありがとう。いつもお母さんの「いつてらっしゃい。」の声に今日も頑張ろうと思、「おかえり。」の声に明日も頑張ろうと励まされます。私たちのために、毎日おいしいご飯をつくってくれてありがとう。お母さんとけんかをして腹が立ち、やつあたりをしてしまうこともあるけれど、感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきます。いつも私たちのことを考えてくれてありがとう。そんなお母さんがこの世界でいちばん大好きです。

忙しい中、ありがとう

松山中学校二年

青山 真梨乃

私の両親は、養鶏場で仕事している。にわとりを飼っているもので、毎日出勤している。でも、私と妹の部活の練習試合や試合には休みを使って、ほとんど応援に来てくれる。お母さんはその日の試合をふりかえって、できなかつたことには厳しく、できていたことには優しく、アドバイスをくれる。そのアドバイスで私はいつも、次に向かっての切りかえができる。もちろんムカつくこともあるけど、お母さんの言葉は、いつも私の心の支えになっている。お母さん。いつも忙しい中、応援に来てくれてありがとう。

大好きな父と母へ

志布志中学校一年 田ノ崎 優莉亜

私の父と母は普通の人です。お金持ちでもないし、芸能人でもありません。でも、私と二人の男の子のためにいろんな事をしてくれました。それは、習い事の道具や普段着る服などを買ってくれたことです。私は幸せだなと思います。なのに、気に入らないとき、時々怒ってしまいます。今度は、私が、父と母に何かしてあげたいです。お金や物ではなく自分の体で。これからも、大好きな父と母でいてほしいです。

唯一私の母

志布志中学校二年 川原 空夏

私は、母子家庭で育てている母を見むきもせずわがままばかり言っていたね。おさがりが嫌だと言い、新しいのを2つも買ってくれてありがとう。一人で育てていて、少しでもお金をためようと残業までしているのを見るとわがままばかり言っていた自分がすごく嫌だった。それから、私は家の手伝いをすすんでするように母の「ありがとう」が一番の救いだったよ。母と居ると笑っていられる、ありのままの自分であられた。最初は、他の人には父が居て部活や習い事をしているのがうらやましかつたけど今は、そんなの全然気になんかしてない。むしろ一緒に居られる時間が多くなあってうれいって思ってる。これからは、何度も頼ってね。次は、私の番だから。

お母さんへ

有明中学校一年 上原 真音

お母さんは、いつも大変な仕事から、疲れて帰ってくるのに私の洗濯物を干してくれたり、私のご飯をおいしく作ってくれて、ありがとう。それに家族の分のお皿やコップ、いろいろな物を洗ったり、片付けたりしてくれて、ありがとう。私が分からない宿題をお姉ちゃんと分かるまで教えてくれて、ありがとう。それから、私がうれしいことを自分のようにお姉ちゃんとお喜んでくれて、ありがとう。私が、がんばっているときに、お姉ちゃんと最後まで応援してくれて、ありがとう。応援しているときに、「継続は力なり」とはげましてくれて、ありがとう。そのおかげで、私は、頑張ってきました。

母にありがとう

有明中学校一年 山名 蒼空

私の母は、躰にとっても厳しいです。箸の持ち方、お茶わんの持ち方、そして一番は「字の丁寧いさ」です。「字は人を表す」というのが口ぐせです。でも、私はすぐに丁寧に書くことを忘れてしまいます。私が書いた字を読む相手がいること、そして私自身を表す鏡になるのだと日頃から言われます。それが出来るようになること、私自身も自信が付き、良い方向に行くと感じます。素直に聞けない時もあるけれど、心の中では、分かっています。心の声がきちんと「字」に表れるよう努め、母へ、想いが届くと思います。

父へ

有明中学校一年 坂田 蒼空

私の父は消防士だ。いつも一日おきに家に居ない。しかし、家に帰ってくると仕事で疲れているのに、家事を手伝ってくれる。どんなに疲れていても、私と母のために家事の手伝いや、学校での悩み事もたくさん聞いてくれる。私はそんな父が、大大大好きだ。いつも優しく強い父をもてた私は、世界中で一番幸せだ！

「ありがとう」と「ごめんね」

有明中学校二年 安川 和祈

いつも心配ばかりかけている娘でごめんね…私は、たぶん…泣き虫なのかもしれないね。それに私は、思いやりも少ないと思う。いつもめんどくさがって妹がほめられるのも少し悲しかった時もあった。いろいろ他にもあるけれどこれを書きながら泣きそうになりました。やっぱり泣き虫だね。今までのことを振り返って、ごめんなさい。私、頑張りたいことができました。それは、お母さんとの「ありがとう」を言いたくなる思い出をたくさんつくること！私の志や気持ち、お母さんに届いた？こんな私だけど、笑顔になれるような物や行動ができるように努力するからね。そして、人一倍分ぐらい何かの特技を見つけられるようにします。産んでくれてありがとう。大好き

日頃の感謝を伝えたい

有明中学校二年 加世田 莉紗

お母さんには、言葉で言い表せないぐらいとても感謝しています。いつも、私の為に作ってくれるお母さんのご飯は、世界一おいしいです。今まで、たくさん迷惑をかけてごめんなさい。大人になって、働くようになって、必ずお母さんに恩返しをします。これからも、たくさん迷惑をかけるかもしれないけど、目標に向かって頑張るので、応援してください。

お母さんへ

有明中学校三年 神崎 梨里愛

お母さん、いつも私やお兄ちゃんのためにお仕事や家のことをがんばってくれてありがとう。私がここまで育ったのは、お母さんのおかげだと思っています。お母さんはいつも私たちに「辛いことがあったらいつでも言ってみてね」と言いますがお母さんはどうですか？いつも一人で抱えこんでしまっている気がします。もっと頼ってください。私たちは家族です。いつ頼ってもわがままを言っても泣いても苦しいと言ってもいいんです。それが家族なのだから。子どもの私たちでは頼りないこともあると思いますが支えあっていきましょ。これからも、未永くよろしくお願いします。

お母さん、ありがとう。

有明中学校三年

土橋 さくら

お母さん、ありがとうございます。二年程前、私が中学校へと上がり、新しい環境になかなか慣れず、頭を悩ましていた時、たくさん私を励まし温かい気持ちでいつも支えてくれました。とてもうれしかったです。お母さんの支えは私の心の支えになり、このことを含め、中学校での様々な壁を乗り越え、それは私の経験として今も在り続けています。中学校生活もアツという間に過ぎて行き、私は今年受験生となりました。将来の夢への大きな第一歩です。今までの経験と、支えてくれたお母さんへの感謝を忘れることなく、勉強に励んで自分の道を切り開いていきたいです。お母さん、今までありがとうございます。そして、これからも宜しくお願いします。

私の気持ち

有明中学校三年

中水 真悠

私は今、母に感謝の気持ちを伝えたいです。いつも当たり前のように朝ご飯を作ってくれたり、洗濯したり、掃除したりいろいろ大変そうに、部屋中をかけ回っています。そのうえ仕事で朝、早出だったり、帰りが遅くなってしまうときもあります。そんなときも、いつもと変わらずに、家事をこなしてくれて、とてもありがたいです。たまに文句言ったり、たくさんお酒を飲んで寝てしまったりと、かわいい一面も持っていて、母を見ていると、とても安心するし、元気をもらえます。たまに反抗して言い合いになったりするけど、毎日たくさんさんの愛情をくれて、私のことを大切にしてくれて、本当にありがとうございます。

父のみそ汁

有明中学校三年

大塚 由結

いつも、朝にみそ汁を作ってくれてありがとうございます。いろいろな、みそ汁を作ってくるので毎朝楽しみです。とてもおいしくて、元気の源になり学校でも楽しく過ごさせています。これからも、作ってね♡

父へ

宇都中学校一年

牧 龍之介

いつも送りむかえや、家の仕事をしてくれている父には、いつも感謝しています。自分は、家の仕事をあまりできていなくて、いつも迷わくをかけてしまっています。なのに、そんなに怒るわけではなく、優しく接してくれました。仕事でつかれていても、ご飯を作ってくれる父には、とても感謝しています。遊びに連れて行ってくれたり、送りむかえをしてきている父は、とても優しい父だと思います。また、部活のためいろいろしてくれてサポートしてくれる父には、感謝しています。次からは、自分が積極的に、家の仕事をして、役に立ちたいです。これから、父には、「ありがとう。」という言葉を使って感謝したいです。

母へ

宇都中学校一年

宮島 彩望

仕事が忙しい日があるのに、いつも家事などありがとうございます。私は最近、部活などで帰りのおそい日があり、あまり家事などを手伝えず、申し訳ないとも思っています。休日も小学生の頃より手伝わなくなった気がします。なので、これから部活がある日は最低一つ、休日は最低二つ以上手伝えるように頑張ります。そして、いつも頑張っている母の役に立てたらいいなと思います。改めて、いつも本当にありがとうございます。

多忙の父へ

宇都中学校一年

堀口 綾夏

お父さんへ。お父さんの仕事の量の多さをこの年になってようやく少しは理解することができました。コロナかの中のテレワークやうち合わせの量、かかってくる電話の量など今までも少し注目すれば分かるものもあったのに、ずっと自己中心的に全てを見ていたので全然気づけずしていました。それなのに愛犬の散歩やその他家事などお母さんと協力しながらこなしていて、すごいと思います。子どもの力なのでまだまだできない事の方が多いと思いますが、少しでも力になれるように頑張りたいと思います。

「ありがとうございます。がんばるね。」

宇都中学校一年

津中 奏音

私たちは、五人兄弟の七人家族だ。私は、テレビで子供一人にかかるお金は一億くらいかかることもあると知った。私の父は、昔からトラックの運転手が仕事だ。父は、二ヶ月、三ヶ月くらい仕事に行き、二日くらい家にいたらまた仕事に行き、当分会えなくなる。だから、母のけいたいを借りて、たまにテレビ電話をする。父は、前「奏音たちのために、好きな高校、大学に行けるようにがんばるから。」と言ってくれたんだ。私はその思いに答えるべく今を大切にして学生をまんきつして、自分の夢に向かって進んでいきたい。そして、将来いっしょうけんめい両親に親孝行をしたいです。最後に、「いつもありがとうございます。これからもがんばるね。」

日頃の感謝をこめて

宇都中学校一年

抜迫 琳童

僕の母と父は毎日朝早く起きて、家族のお弁当や朝ごはんを作ってくれます。母は毎日、服を洗たくしてくれたり、僕たちを見てくれたりしています。父は、毎日仕事に行って夜おそくまで働いていますが、必ず僕が「おかえり」というと、にこにこしながら「ただいま」と返してくれます。僕がない時でも、愛情をそそいでくれるお母さん、お父さん、いつもありがとうございます。

尊敬

伊崎田中学校二年

中村 光希

僕は、父を尊敬します。その理由は、一生懸命頑張ったお金で、新しいお家を建てたことです。父は、とても尊敬する人で、無理に休みを取ってくれたり、買い物に連れて行ったりなど、色々なことをしてくれます。父が、僕たちを、ここまで育ててくれたことに感謝しています。僕も何でもできる父になつてみせます。父のことは、本当に尊敬しています。父は、誰にも負けない心を持っています。人一倍厳しいけど、優しい時の方が多いです。僕は、父の好きな所だったら何個も言えます。それだけ、父のことが好きです。

両親へ

伊崎田中学校三年

立和田 心優

「長女という立場が嫌いです。」いつもこんな気持ちです。その理由は、下の子のことにも私に、一番上だから我慢しろということがあるからです。私は下に生まれたかったと思うこともあります。一番上でよかったと思うこともあります。怒られた日に、私が本音をいった後の父母の言葉が心に残りました。「嫌いで怒っているんじゃない。将来、困らないように言っているんだ。」この言葉に私は、「一人になつたときに困らせたくない。私を心配している。」と思いました。この言葉のおかげで私は「長女の立場」を理解することができました。いつも私たちのためにありがとうごさいます。これからも、よろしくお願いします。

家族へ

ばあばへ

松山小学校二年

清たき ひかり

いつもやさしくしてくれて、おいしいごはんをつくってくれてありがとう。これからも、体に気をつけてわたしたちといっぱいあそんでね。

じいじ、長生きしてね

松山小学校四年

清瀧 雄心

じいじは、ぼくと妹に、いつもやさしくしてくれます。軽トラックの荷台にシートをして、水がもれないようにしてプールを作ってくれます。じいじのプールは楽しいです。じいじは、お米を作っていて、とてもおいしいです。牛の仕事もしています。子牛が産まれるときは、とても心配していて、元気に産まれると、とてもうれしそうにしています。ぼくは、牛小屋のそうじや子牛のミルクあげのお手伝いをします。じいじは、とてもよろこんでくれます。じいじがよろこんでくれると、ぼくもうれしい気持ちになります。じいじのことが大好きです。これからも、いろいろなことをじいじといっしょにやっていきたいです。じいじに長生きしてほしいです

がんばってね、お姉ちゃん

松山小学校四年

高木 波瑠人

ぼくには、高校三年生のお姉ちゃんがいます。お姉ちゃんには、保育士になるという小さいころからのゆめがあります。お姉ちゃんは、ぼくが赤ちゃんのころ、おむつを交かんしたり、遊んだりしてよく面どうを見てくれたそうです。今も勉強やゲームをいっしょにしてくれます。ぼくは、やさしいお姉ちゃんが大好きです。保育士は、お姉ちゃんにぴったりの仕事だと思います。子どもたちにやさしく、よく遊んでくれる先生になりそうです。お姉ちゃんは保育士の勉強のために、来年の四月から、家から遠い学校へ行きます。ぼくは、とてもさびしいけど、がんばってほしいです。お姉ちゃんを応援しようと思います。

いっちゃん、ありがとう。

泰野小学校二年

さかもと れんじ

ぼくには、一さいのおとうとがいます。いつもは、しゅくだいのじやまをしたりしてくるけど、ぼくがおとうさんにおこられてないっていると、後ろからギュツとしてなぐさめてくれます。そんな、いっちゃんのことがかわいくとても大好きです。生まれてきてくれて、ありがとう。

ありがとう、おじいちゃん

尾野見小学校四年

木之下 果実

わたしが、お礼をいいたい人は、わたしのお母さんのお父さんです。わたしのおじいちゃん、牛をかっていて、その市に住んでいます。いつも朝早くおきていて、とってもつかれていると思います。けれど、わたしたちがならっている、バレーを教えるに来てくれているのです。そのおかげで、みんなが上手になっっているのです、とってもうれしいです。しどろは、とってもこわいけど、とっても楽しいです。牛の赤ちゃんがうまれる時でも、早く帰るだけで、ずつと、しどろしてくれます。いつもおじいちゃんありがとう。これからもよろしくね。そして、わたしもお礼に、牛のえさやりとかを手伝うね。

ありがとう

尾野見小学校五年

増田 湊斗

ぼくは、ありがとうと言いたい人がいる。それは、祖母である。なぜかと言うと、ぼくのためにたくさんのおかしを作ってくれるし、ぼくにいつもやさしくしてくれるからだ。すなおに「ありがとう」ということをばを言えない。かんたんだけどはずかしい。でも、ゆうきをもって、つぎぜつたいに言う。

「ばあば」

尾野見小学校六年

古森 大智

ぼくには血のつながらない「ばあば」がいる。茨城県に住む小池さんだ。ぼくは一才から十才まで茨城に住んでいた。「ばあば」はぼくが悲しい時、つらい時、いつも「大丈夫。大丈夫」とやさしくだきしめ声をかけてくれた。いつもたくさんぼくの話聞いてくれた。いつも全力で遊んでくれた。どんな時も真剣に向き合ってくれてありがとう。やさしく見守ってくれてありがとう。引越してから手紙やメールで気にかけてくれてありがとう。「ばあば」の存在には、たくさん助けてもらっている。「ばあば」と過ごした十年間は、ぼくの宝物。大切なことを、たくさん教えてくれてありがとう。出会えたことに感謝している。

みんなにありがとう

志布志小学校一年

かせだ いき

きょうは、かぞくでおぼんのはかまいりにいきました。おはかにいくとき、いろんなはなしをききました。ぼくがいますんでいるいえは、じいじのおとうさんたちがたててくれたそうです。ばあばのおとうさんたちもいっぱいはたらいていたそうです。ままがぼくに、さきにうまれたひとたちがいっぱいがんばってくれたから、いきはいまのせいかができているんだよとおしえてくれました。ぼくはあつたことはないけど、ひいおじいさんたちにありがとうとおもいました。ぼくもいっぱいがんばろうとおもいました。

じいじ、いつもありがとう

志布志小学校二年

おおしま じん

ぼくには、大すきなおじいちゃんがあります。学校がおやすみの日、パパとママがおしごとのときにじいじのところへ行きます。じいじはいつも、パパとママがいないとき、ぼくがおなかですいたといったら、すぐにごはんをつくってくれます。ぼくがたいくつなときに、ぼくがやりたいことをいっしょにしてくれます。じいじは、ぼくのことを大すきなんだとおもいます。ぼくも、そんなじいじが大すきです。じいじ、いつもありがとう。

大すきなひいばあちゃん

香月小学校一年

山下 愛心

わたしのひいばあちゃんは、ほいくえんるときからおくりむかえをしてくれます。いつもくるまのなかでいろんなはなしをしてくれて、とてもたのしいです。だから、わたしもひいばあちゃんをたいせつにしていきたいです。

大好きお姉ちゃん

香月小学校四年

草留 来美

わたしのお姉ちゃんは、中学一年生で目が合うと『ぎゅ』とだきしめてくれるやさしいお姉ちゃんです。でも、お姉ちゃんは、学校や部活で忙しくてご飯を食べる時や、おしゃべりをする時間が最近へってきています。去年までは、小学校にいっしょに行っていたけど、中学生になったので、学校にも行けないです。さみしいです。お姉ちゃんは、わたしが車でねてしまった時に家まで、おんぶしてくれました。わたしは、おかし作りが好きなのでお姉ちゃんにパンケーキを作ってあげます。お姉ちゃんは「フワフワしておいしい。ありがとう。勉強もバレエもがんばれるよ。」とよろこんでくれます。お姉ちゃん、これからもずっと仲良くしてね。

ありがとう

潤ヶ野小学校五年

中島 瑚子

大好きなおばあちゃんが亡くなった。忙しいときに、皿洗いや洗たく物を干してくれてありがとう。私の事を「かぜをひかないようにね。」と気づかってくれてありがとう。「しつかりごはんを食べるんだよ。」と声をかけてくれてありがとう。「ありがとうね。」が口ぐせだったけど、こちらこそ、いつもやさしくしてくれてありがとう。家族みんなで食事するのが大好きだったおばあちゃん、本当にありがとう。

大すきなおばあちゃんへ

安楽小学校二年

井手 晴間

「てるまくん。たよりにしてるよ。」と、いつもぼくのことを、やさしくたよってくれてありがとう。大すきだよ。いつまでも元気でいてね。ぼくのきもちを大せつにしてくれてありがとう。

大好きなお姉ちゃん

安楽小学校四年

宇崎 美玲

わたしの姉は、やさしくておもしろい人です。姉とは、いっしょに買い物に行きます。おそろいのペンとスリッパを買います。家ではバドミントンをすることもあります。姉は、バドミントンが上手ですが、わたしにあわせて遊んでくれます。そんな姉が、この四月から長崎に行ってしまいました。わたしは、さみしくてたくさん泣きました。そしたら、姉は、わたしに電話をしてくれて、たくさん話を聞いてくれました。はなれて、姉のことがますます大好きになりました。お姉ちゃん、たくさん遊んでくれて、たくさん話してくれてありがとう。いつもやさしいお姉ちゃんが大好きです。

おいしいお米をありがとう

安楽小学校六年

宇崎 麗斗

ぼくが、生まれた時から食べているお米は、おじいちゃんが作ってくれているお米だ。毎年、暑い中、手まひまかけて作ってくれている。そんなおじいちゃんが最近、体調をくずした。とても心配だ。まだ手伝いしか出来ないけど、大きくなったらぼくがおじいちゃんとおばあちゃんにお米を作ってあげたい。だから、無理せず、もう少し待っててね。

ありがとう

田之浦小学校六年

松久保 太誠

先日、祖父が亡くなった。僕も悲しかった。でも、いつも祖父のそばで支えていた父が一番悲しかったと思う。僕は、六年生最後の運動会が祖父のお葬式と同じ日になっってしまった、出来なかった。僕も、「じいちゃんのためなら仕方ない。」と思っていた。そんなとき、先生が、僕がしたい競技を全校児童でやることを提案してくれた。父と母は喜んで、見に来てくれた。そのとき、父は、カメラで何枚も写真をとっていた。僕はそのことが、とても嫌で、はずかしかった。家で僕が不機嫌顔していると、母は「太誠が運動会に出られなくて、悲しいのは太誠だけじゃない。」と言った。僕は今やつと、いろんなところで支えてくれる家族の気持ちが分かった気がした。

ありがとうお兄ちゃん

伊崎田小学校六年

上室 幸之介

ぼくは、いつもソフトの練習をしています。自主練でいつも手伝ってくれるお兄ちゃん。いつもまちがってるすぶりをしていたら、「こうしたらいいよ。」と教えてくれるお兄ちゃんいつもありがとうございます。したい遊びをしてくれたり分からない問題を教えてくれたりしてくれました。いつもありがとうという言葉がいっぱいです。今度は、ぼくもありがとうをいわれる人になってお兄ちゃんのようなやさしい心をもつてありがとうと言われたいです。

おばあちゃんの作ったごはん

蓬原小学校三年

乙藤 英介

夏休み、赤ちゃんが生まれたので、ぼくのお母さんは、ごはんを作るのができませんでした。ぼくたちは、夏休みの間ずつとおばあちゃんの家ですごしました。おばあちゃんは朝早くからごはんを毎日作ってくれました。昼も夜もお母さんのかわりに作ってくれたおばあちゃんは、たいへんだったと思いました。だけどおばあちゃんはいつも楽しそうに、「ごはんできたよ。」と言っていました。ぼくは、おばあちゃんの作るごはんの中では、ぶた肉の入ったやきめしが一番だいすきです。おばあちゃん。毎日みんなにがんばって作ってくれて、ありがとう。おいしいよ。

じいじとばあばへ

野神小学校六年

赤野 奈々美

じいじとばあばいつもありがとう。いつも楽しい話をしてくれるおかげで毎日楽しく過ごせています。学校の話や家での話をしてると笑顔で聞いてくれるのでうれいす。また、つかれているときにおかしや飲み物をわたしてくれます。その時ほとんどよろこびました。いつもおうえんしてくれてありがとう。持久走大会や運動会など学校行事のとき毎回来て、いっしょうけんめいおうえんしてくれるのでがんばれています。そして、ばあばが作ってくれるまぜごはんは、どのまぜごはんよりもおいしいです。また作ってください。そしたらたくさん食べます。これからもおもしろい話やじょうだんをしてくださいね。いつもありがとう。

私のおばあちゃん

野神小学校六年

安樂 希乃花

私のおばあちゃんは亡くなってしまった。あんなに元気だったのに事故で亡くなってしまった。おばあちゃんの家に行くと、料理を作ってくれたり、ミシンで、ポーチなどを作ってくれた。いつも元気で笑顔のおばあちゃんは、私のあこがれだ。何事も前向きでダメな事はちゃんと注意をしてくれた。おばあちゃんの料理はすごくおいしい。でも、もう食べられない。それが悲しい。でも、私は、おばあちゃんのように明るく笑顔で過ごそうと思った。おばあちゃんはいつでも見てくれていると思っていふからだ。私はおばあちゃんのようにいつまでも元気で周りの人のことを考えられるような人になりたい。

早くよくなってねお兄ちゃん

有明小学校四年

古川 夢絆

八月六日に、お兄ちゃんの体調が悪くなって、夜に病院へ行きました。すぐにそのまま入院しました。ぼくは、お兄ちゃんの体が心配です。泣きそうだったけどがまんしました。ぼくが泣くと、弟も泣いてしまうからです。ぼくは、お兄ちゃんがいけない間、お兄ちゃんのかわりをしようと思えました。いつもお兄ちゃんは、こまっっている時もすぐにきてくれて助けてくれました。ソフトボールの練習につきあってくれます。毎日お兄ちゃんのまねをして、弟のめんどうを見ました。とても大変でした。いつもえ顔で、そばにいてくれる、お兄ちゃんは、やさしいなと思えました。早くよくなって帰ってきてほしいです。

私のお兄ちゃん

有明小学校六年

津中 梨季

私のお兄ちゃんは、すごく絵がうまいです。お兄ちゃんは、今、高校三年生です。お兄ちゃんは、美術大学にいきたいと言っています。そのことを、全力で私は、おうえんします。それに、お兄ちゃんは、ダンスを十二年やっています。私は、まだ五年しかしていません。私は、ダンスを始めて少ししかたっていないときに、うまくおどれなくて泣きながらがんばっていた時期がありました。そのときに、お兄ちゃんが「りりなら、大丈夫。お兄ちゃんはずっとおうえんしているからね。」っていつてくれました。そのおかげで私は、今も、ダンスをつづけられていて、いろんなイベントで賞をとることもできています。お兄ちゃんには、本当に感謝しかありません。

おばあちゃん、がんばってね

山重小学校四年

持留 煌明

今、ぼくには、入院をしているおばあちゃんがあります。ぼくは、おばあちゃんが大好きです。昔、保育園にむかえにきてくれたり、お風呂に入ったり温かいごはんをいっしょに食べたり、家までおくっていつてくれたりしてくれた思い出があります。でも今は、直せつ電話や面会ができません。でも、前は登校前に写真や動画を送ったりしました。それを見て元気をだしてもらいたいです。もうすぐたいいんするそうなので、早くたいいんしてもらって、家族でたいいんたいいんしたいです。そして、直せつ、「今までありがとう。これからもよろしくおねがいします。」と伝えたいです。

大切な弟たち

山重小学校五年

圓福 悠

ぼくには、二人の弟がいます。一人は、三年生で、もう一人は、一年生です。ぼくたちは、よくいっしょに遊びます。外でドッジボールやサッカーなどを遊んだり、家の中でゲームやブロックなどでよく遊んだりします。でも、けんかすることもあります。口げんかになったり、手を出してしまったりすることもあります。でも、いつも仲直りをしてまた仲良くなっています。ぼくが病気のときも心配してくれます。遊んだりけんかしたりしても二人は、ずっと大切な弟たちです。これからも、兄弟三人、けんかをして仲よくやっついていきたいです。「ありがとう、弟たち。」

コロナに負けない

山重小学校六年

郡山 楓雅

ぼくにはいろいろなところに家族がいます。いちばん遠くて沖縄にいます。現在新型コロナウイルスがはやっていて、すでにかんせんしている家族がいます。できればこれ以上かかってほしくないとぼくは思っています。また、亡くなったひいじいちゃんにも天国で元気にすごしてほしいと思っています。八月に生まれたいとこの赤ちゃんも、このまま元気に育つて大きな夢を持ってほしいと思っています。そして、ぼくやそうまやらいむも一生けんめい努力して、立派な大人になって、将来はお金持ちとして、世界中に知ってもらいたいです。「コロナに負けず元気いっぱいな人になりたい。そして将来は立派な大人になりたい。」

僕は、家族の優しさが大好きだ。いつも、どんな時でも温かく見守ってくれる。僕の事を一番に考えて、一緒に笑ったり、泣いたり、時には叱ってくれる。中学生になって、当たり前前の家族の優しさが、すごくありがたいと思うようになった。いつも美味しいご飯をありがとう。空手やピアノなどの送り迎えをありがとう。沢山の優しさをありがとう。なかなか言葉にはしていないけれど、とても感謝しています。僕が、心も身体も元気でいられるのは、家族皆のお陰です。大事な家族が、毎日笑顔でいられますように。いつまでも健康でありますように。

ありがとう

有明中学校二年 竹井 野乃花

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」今年も、じいちゃんの田んぼが黄金色に染まってきた。じいちゃんの作ったお米は、つやつや、ほくほく栄養満点。このお米を食べてけんきよな姿勢で頑張る人になりたいです。じいちゃんありがとう。

言えなかった後悔

宇都中学校一年 上村 優佳

私には小さいころからずっと好きだった祖父がいた。祖父は、昨年の五月十八日に亡くなった。私が四・五歳ぐらいの時、よく祖父に変顔をして笑わせることをしていた。祖父は認知症という病気をもっていた。祖父は、祖母の名前しか覚えていなかった。毎日毎日一緒にいたからだ。そんな祖父に私は、「大好き。」と言うことができないまま天国へ行ってしまった。そしてそう式の時に「今までありがとう。」と言って火そうをした。私は、一年ちよつとたった今でも、「大好き。」と言えなかったことを後悔している。

大切な家族

伊崎田中学校一年 坂下 望愛

私の家族は、みんな個性豊かな家族です。いつも騒がしくておもしろい家族に私は思わず笑ってしまいます。私がかかれていますときや体調が悪いときは気づいて心配してくれず。家族とケンカしてしまったりときは、全力で笑わせてくれます。だから私は怒っているときでも少し心地いいです。だから私は、家族みんなを笑っていたいです。

先生へ

ぼくがんばるよ

松山小学校一年 坂元 蒼佑

せんせいぼくね、がつこうになれることができなくて、ないちやうまいにちだったんだ。でもせんせいが「ぎゅう」してくれたからぼく、がんばるよ。

四年生のころのぼく

松山小学校五年 前田 樂歌

四年生のころのぼくは暗くて、マイナスしこうでした。だから、ぼくは笑顔を出すのが少なかったです。ぼくが友達とけんかして先生におこられている時、先生が「友達の気持ちも考えてみて。ろかくんには、それが出来るよ。」と言ってく下さいました。四年生で悪かったなと思うことは全て反省し、先生が言ってく下さったことは今も忘れていません。先生のおかげで前向きになり笑顔をいっぱい出せて、性格がいつきに変わりました。まだちよっぴり悪いところもありますが暗いよりかはましです。四年生のころの先生、本当にありがとうございました。

いつも、ありがとう

志布志小学校二年 いなもり しゅんた

ぼくは、たんにんのせんせいに、ありがとうのきもちをつたえたいです。いつもがつこうでまっついていてくれてありがとう。ぼくは、がつこうになかなか行けません。せんせいは、いつもえがおでまっついてくれます。ぼくは、せんせいのおかげであんしんしてがつこうへ行ける日がふえています。せんせい、いつもありがとうございます。

先生へ

志布志小学校三年 永田 達喜

いつも、算数や国語のおべん強をおしえてくれてありがとうございます。次のおべん強が楽しみです。ぼくはみんなや先生と遊んだり、べん強したりする時が学校で一番好きです。べん強の中でぼくが一番好きなのは算数で、あそびの中で一番好きなのは鬼ごっこです。先生は何が一番学校で好きですか。夏休み、プールに行って何人か友だちがふえて、ほんとうにいい夏休みでした。体をきたえるために、時々五〇〇mぐらい走っています。先生にまけたくないのでやっています。自分ではわからないけど、走るのが速くなっているといいです。先生は夏休み何をしていましたか。そして、どんな事がありましたか。

せんせいいつもありがとうございます

香月小学校一年

木下 夕姫

あさがっこうにいくと、たのしみがあります。まず、きょうしつへはいると、「おはよう。げんき。」とうれしいこえをかけてくれます。つぎに、きょうしつのそとにでも、はなしかけてくれるせんせいのあたたかなやさしさに、いつもがんばれるわたしです。

先生へ

田之浦小学校五年

崎田 鳳希

ぼくの先生は、とてもおもしろい先生です。クラスのだれかがおもしろいことをしたら、さらにおもしろいことをする先生です。ぼくは、そんな先生を見て、いつも元気をもらっています。ぼくも時々、問題の答えをまちがえることがあります。その時も先生は、おもしろおかしくつつこんできます。そのおかげで、まちがう事はずかしくありませんでした。困っているときは、助けてくれるし、毎日楽しい気持ちにさせてくれて、ありがとうございます。

おしえてくれてありがとうございます

伊崎田小学校二年

土永 鳳華

一年生のとき、さんすうのけいさんが、わかりませんでした。ちがいやのこりと、いうことばがひきざんとわからなくて、はじめのうちは、けいさんができませんでした。でも、るりか先生が、ブロックをつかってなん回も教えてくれました。やつと分かったとき、わたしは、とてもうれしかったです。るりか先生ありがとうございます。

校長先生へ

野神小学校三年

草清 颯摩

いつもやさしくしてくれてありがとうございます。こわいときもあるけど、あれはぼくたちのためですよ。これからがんばってください。

いつもみまもつてくれるきょうとう先生

野神小学校三年

樽野 一翔

きょうとう先生いつもお昼休みやきゅう食時間お話しにきてくれたり「きゅうけいしてください」といったりして、みまもつてくれてありがとうございます。ぼくは、先生のその言葉で、「あ、きゅうけいしよう、お話をきこう」といつも思います。これからも、いろいろな先生の話の話を聞いて、行動していきたいと思えます。

これからもよろしくおねがいします

野神小学校五年

郡山 珠綾

私の担任の先生はやさしいけどおこるとこわいです。でも先生は、算数や社会の勉強を、分かりやすく教えてくれたりするので分かりやすいです。先生といると笑ったりうれしかったり楽しくなったりなります。私は先生が大好きです。私は、先生の話をよく聞いて頭が良くなりたいです。

たんにんの先生

野神小学校六年

取違 奏人

ぼくは、今六年生です。今のたんにんの先生は、五年間あまりしゃべったりしたことがなかったです。なので最初は気まずかったです。でも、しゃべってみると楽しかったり、おもしろかったです。授業は、分かりやすく頭に入りやすいです。こまったことを相談してみると、積極的に話してくれて、助かりました。先生は、六年生をかがやかせたいと思っていています。なので、その目標にいけるように、先生がぼくたちのことをほこりに思ってくれるまでがんばりたいです。

やさしい先生たち

有明小学校三年

犬飼 友仁

M先生は、やさしくて国語、算数、理科、社会をわかりやすくおしえてくれる先生で、「トンボやバッタをそだてよう」の時もものすごくわかりやすかったです。Y先生は、いつもとても元気に学校に来ていました。鬼ごっこ、ドッジボール楽しかったです。でも、と中から教頭先生になってしまえばよかったです。M先生、Y先生、一・二年の時は、ありがとうございます。これからもよろしくおねがいします。

校長先生へ

通山小学校二年

祝田 紗良

毎日、校門に立って来てありがとうございます。私が、すごいと思うことを書きます。私は、いつも休むことなく学校へ来る校長先生がすごいと思います。校長先生が、校長になったことを私はすごいと思います。校長先生に私はきょうみがあります。なぜかというと、べんきょうをかさねて、小中学校、高とう学校をそつぎょうして、大学をそつぎょうして、校長先生になったからです。校長先生も元気にしてください。

去年のやさしい校長先生へ

通山小学校四年

吉永 結心

ぼくは、去年の校長先生は、いつも、正門の前に、笑顔でむかえてくれて、いつも、やさしくて、とてもうれしかったです。思ったことは、見守ってくれてうれしいと思えました。ぼくも、校長先生みたいになりたいとおもいました。また、校長先生に会いたいです。とても、うれしかったです。校長先生は、ぼくの、思い出の先生でした。ぼくも、がんばっていききたいです。去年は、本当にありがとうございました。とても、うれしかったです。

大好きな先生 ―あなたに出会えて―

原田小学校五年

上村 彩華

私には、そんないできる先生がいます。先生はいつも優しい笑顔で笑っています。私が間違っていたら私を、友達が間違っていたら友達を、ちゃんとしかります。できないことやむずかしいことも最後まであきらめないようにいつも側で応援してくれます。うまくできたことやがんばったときは私よりもうれしそうに喜んでくれます。つらい時や苦しい時は私の分まで泣いてくれます。先生と過ごした日々は、私が生きる長い道に、明るく光をともしてくれます。その光があるから、これから先もおそれずに前に進むことができます。こんどは、私がこの想いを次の人にバトンパスしたいです。そして私もいつか先生のように人を想える人生をおくりたいです。

ありがとう先生

松山中学校一年

中尾 柁貴

先生があの時僕の背中をおしてくれなかったら、今の僕はいなかった。僕が嫌なことがあっても先生はあきらめずに僕を二年間支えてくれた。卒業するときも僕に一つの手紙が届いた。内容は「卒業おめでとう。中学生になったら先生がいなくてもちゃんと自分の嫌なことと向き合えよ」と書いてあった。僕は読んだとき涙が少し出た。僕は今、中学生になって少しづつだけ、自分の嫌いなことと向き合ってきている。僕は今でも先生のことをありがたいと思っている。

大切な先生

有明中学校一年

野口 虹心

私には、大切な先生がいます。いつも、勉強を教えてもらったり、昼休みにいっしょに遊んでいました。私は、その先生にいつも感謝をしていました。分からないところは、教えてくれたり、悲しいときには話を聞いてくれたり相談ののってくれました。私は、その先生にいつか「ありがとうございました」と言えたらいいなあと思っています。中学生になって大切な先生が増えました。相談ののってくれる先生がいてとてもよかったです。

お世話になった先生へ

宇都中学校一年 留村 倭羽

私は、小学校のころにお世話になったF先生、H先生、M先生に「ありがとう」と伝えたいです。F先生とH先生は二年間担任をしてくれました。どちらの先生も私にとつて、とても相談しやすい先生でした。そして、M先生は、とてもきれいでH先生といっしょでとてもおもしろかったです。三人の先生は、それぞれ厳しく、優しく教えてくれました。私にとつて、この三人の先生は、とても大事な存在です。特に、F先生は、私の一番好きな先生でした。離任式の時は、とても悲しくなみだが出るほどでした。私は、この三人の先生のことを一生忘れません。

S先生とM先生にありがとう

宇都中学校一年 村上 珠花

二人とも小学校のときはありがとうございました。二人ともいっしょに小学校へ入学していっしょに卒業しました。私は、その六年間でたくさんのお出ができました。S先生はいつも元気でやさしく怒るときはものすごいこわい先生で、M先生は、とてもやさしくあまり怒っているとところは見たことがありませんでした。また、二人はとても身近な存在でした。私は、怒られるとすぐに泣いてうつつむいてしまいます。けど、M先生は優しく呼びかけて希望をくれました。S先生は間違いを直してくれました。私は、二人の先生に支えられてとても勇気ができました。二人は、別の小学校にいるけど、教えてもらったことは一生の支えです。ありがとうございます。

六年間いっしょにいてくれた先生へ

宇都中学校一年 山元 姫奈

私には、私の事や同級生のことをよくしてくれる先生がいました。私たちの小学二年生のときの担任の先生で、生徒たちにも優しい先生でした。私は、その先生に、たくさんのお話を教えてもらって、たくさんしかってくれました。先生とのことで一番思い出に残っているのは、小学五年生の時の修学旅行です。先生とたくさん笑って、いっしょに思い出をたくさん作りました。たくさんお話をしました。私は、先生の「ありがとう」が一番好きでした。先生の「ありがとう」は、とても温かかったからです。私は、人に「ありがとう」を言うのが苦手でした。だけど、先生といっしょに過ごして「ありがとう」が好きになりました。だから私は、先生に「ありがとう」を言いたいです。

親
か
ら

特性と向き合っていく

尾野見小学校二年 上村 弥生（保護者）

今回、前期基本計画における取組の視点、「時代を超えて変わらない価値のあるものの尊重」として、私が伝えたい想いは、息子への最大の賛辞と敬愛の心を贈りたいと筆を執りました。息子は、一歳半の時、南九州病院にて成長の遅れと言語発達遅滞を診断されました。療育や言語訓練に通い、現在八歳になった彼は、伝えたいことを相手に伝わるまで「言葉」で必ず諦めることなく頑張り、頑張れる承認欲求が育ち、又他者への相手の気持ち慮ることが出来てきたと私は思います。これからも、息子とのコミュニケーションを大切に、そして成長への感謝をもつて過ごしていきたいと志の言の葉を綴ります。

息子へ

尾野見小学校五年 津曲 良子（保護者）

この世に生まれてきて、私を母に選んでくれてありがとう。優しくて面白い貴方が大好きです。毎日勉強も嫌いと言いながら、真面目に何でも取組む貴方を誇りに思います。世界で一番愛しています。

がまんしなくていいんだよ

香月小学校四年 前田 美保（保護者）

娘が保育園年長組の時でした。私は何日か体調を崩し、それでも家事、育児とがんばっていた時に娘が私に言ってくれた一言です。「ママ、がまんばかりしていると、人間死んじゃうんだって。だからがまんしないでね。」娘の前では平然としていたつもりでしたが、ちゃんと娘は見ていてくれたのです。それからは、肩の力を抜いて日々を過ごすようにしています。そんな娘ももう十歳。優しい子に育ってくれてありがとう。あの時の言葉はママの宝物です。ありがとう。

子供たちへ

安楽小学校一年 小森 咲來（保護者）

上の子が今年で七歳。私も母になり七年目です。常勤の仕事をしているので、帰りが十九時〜二十時になる生活では宿題やしつけ、食事に関して十分にはできていません。それでも今日まで健やかに成長してきていることに、周りの協力があってこそなので感謝を忘れず過ごして生活してほしいと思います。ママは、忙しい毎日にはっぱいになることがあるけど、子供たちが洗濯物を畳んだり、ハンガーに干してくれたら、手伝いを嫌がらずにしてくれるので助かっています。これからも、家族で協力して、みんなが成長し、楽しくいられるようになっていけたらなと願います。

大好きなむすめへ

野神小学校 山重 みどり（保護者）

こうやってむすめにお手紙を書くのは久しぶりです。最近、むすめも少しずつだけ自分のやりたい事などよく相談してくれて父ちゃんもママも嬉しいです。気がつけばむすめも十二才ですね。この前の運動会も最上級生らしく、どの種目も親の期待以上に頑張ってる姿を見て涙が止まりませんでした。本当によく頑張りました。これからも色々な事があると思うけど、父ちゃんとママはむすめを応援しています。また、時にはつまずいたりする事もあると思うけどその時は、いつでも話をして下さいね。これからは笑顔のステキな明るい頑張り屋のむすめでいてね。父ちゃんとママの所に生まれてきてくれてありがとう。これからもよろしくね。

子供のケガを通して

有明小学校一年 吉岡 朝美（保護者）

六月半ばの夕方、学童から連絡が入り急いでお迎えに行くと、手首を痛がっていて、そのまま病院へ受診しました。骨折と診断され、次の日に手術をしました。骨をピンで固定され、ギプスをして学校まで送っていく日が続きました。6年生の男の子が、息子のランドセルを持ってくれる姿を何度も見て胸があつくなりました。その男の子のように、困っている人がいた時に、そっと助けてくれる子になってほしいと思いました。6年生の子には、感謝しかありません。息子も、ピンを抜く手術まで終わり経過は良好、これからもたくさんの人に支えてもらいながら成長してもらいたいです。

子供へ感謝

有明小学校 柿田 千里（保護者）

私は子供が二人います。六歳離れた兄妹で、上の子は小学一年生で、下の子はまだ五か月です。毎日家事や子育てで大変ですが、上の子がおかしなことをして笑わせてくれたり、下の子の笑顔ですごく癒されています。毎日、疲れも忘れるぐらい笑わしてくれて、すごく感謝しています。

家族へ

伊崎田中学校二年 今村智紀（保護者）

私には、六人の家族がいます。夫、三人の息子、娘、私。夫は、毎日、仕事、仕事でがんばってくれています。長男、長女は、もう立派な大人です。次男ももうすぐ社会人になり、三男は、もうすぐ受験生です。まだまだ気を許すときはありませんが、精一杯サポートしていけたらいいなと思います。私の家族になってくれてありがとう。感謝・感謝です。

相棒ちゃん方へ

有明小学校

萩迫 いづみ（保護者）

当たり前だけど当たり前ではないね

良き理解者であり時に頭を悩ませる存在

いつもケンカしてはバカ笑い

頼もしい味方

「おはよう」で始まり

「おやすみ」で一日を終え

「行ってきました。また夕方に会おうね」が

末永く続くよう願う

いつか新しい門出が来たら手を離そう

背を追い越したキミ

直ぐに追い越すであろうボク

引っ付き虫の末っ子さん

いつも一緒にありがとうございます

母より

かわいい我が子たちへ

通山小学校

片平

奈緒（保護者）

私のところに産まれてきてくれてありがとうございます。「ママー、聞いてー」と三人共たくさんお話をしてくれるので、私は元気がでます。時には、ケンカをしたり、私から怒られたりすることもあるけど、一つ一つ表情が私のパワーとなっています。「大好きー♡」とギューッとしてくれるあなたたち。私からの愛もちゃんと受け取れているでしょう。私もあなたたちにパワーを与えられるママになれるようにもつとがんばるからね！あなたたちに負けないように成長できるようにがんばるゾー。大好きヨ。

感謝を込めて

通山小学校

米山

明宏（保護者）

娘へ、先日運動会がありましたね。そこであなたは元気いっぱいによさこいや応援団の演舞を踊っていました。お父さんは君があんなに力強く踊れるなんて思っていたのがあったので、とてもびっくりしました。同時にこんなにも成長していたのだと感動しました。元気に、まっすぐに成長してくれてありがとうございます。また、娘にしっかりとした教育を施してくださいました先生方へも心から感謝します。コロナ禍や様々なことが多様化しているなか、学校教育を取り巻く環境は目まぐるしく変化し、その対応で忙しいにもかかわらず、児童第一で教壇に立つ姿には頭が下がる思いでいっぱいです。本当にありがとうございます。

地域の方へ

夢や目標

友人へ

大すきな友だちへ

泰野小学校二年

川野 祥貴

多じ見のみんな、たのしい思い出をありがとう。休み時間におにごっこをしたり、ドッジボールをしたりしていっしょにあそべて、とてもたのしかったよ。うんどう会の玉入れのとき、学年で一ばんになるためにこえをかけ合っただね。たまが入らなかったときに、「まだ大じようぶだよ。じ間はあつたよ。」とほげましてくれて、うれしくて力が出たよ。今ぼくは、あたらしい学校で、うんどう会のれんしゅうをしているよ。リレーのれんしゅうやかけ足とびのれんしゅうをがんばっているよ。多じ見のみんなにまけないように、本ばんもがんばるね。またいつか会おうね。

いつもありがとうございます

志布志小学校六年

柿元 乃衣

私は感謝を伝えたい人がいます。それは、バスの運転手さんです。私は一年生のときから学校にバスで通っています。なのでバスの運転手さんにはいつもお世話になっています。でも、卒業したら、もうバスには乗らなくなります。だからバスに最後に乗る日はいつもより心をこめてありがとうございますと言いたいです。

私の夢

香月小学校五年

大窪 紅実

私の夢は、声優になつて、みんなを笑顔にすることです。私が声優になりたいと思った理由は、あこがれの声優さんができたからです。その人は、自分には出すことが出来ないような声をキャラクターに合わせて演じているので、すごく尊敬しています。いろいろなゲームやアニメなどの作品の声を担当するには、たくさんの経験を積まないといけないし、それ相応の努力が必要だと思います。しかも、声優になりたい人は三十万人程いると言われていますが、活躍できるのは、たった一人くらいしかいないので、とても険しい道です。しかし私は、声優になれる一人の一人に選ばれるように、「努力は身を結ぶ」という言葉を信じて夢に向かってがんばります。

「私たちの食をささえてくれる農家さんへの感しや」

潤ヶ野小学校四年 安樂 咲

私は、夏休みの間、牛のお手伝いをしました。暑い中、お手伝いをしたので、大変さを知っています。私の家は、子牛を育てて、セリに出しやがて肉になります。大切に育てて私たちの食になるのはとても悲しいけれど、愛じようをいっぱいあげてセリに出された牛さんのためにも、肉をおいしく食べてあげないといけないと思いました。そして、農家の方がたにも感しやして食べようと、私は思います。

サッカーせんしゅになりたい

安楽小学校一年

外岩戸

翔太

ぼくのゆめはサッカーせんしゅになることです。ぼくは、サッカーをほいくえんるときからはじめました。いまチームには、一ねんせいは、ぼくしかいません。でも、れんしゅうをがんばって、リフティングがひやかいでできるようになりました。なつやすみはしあいがあつて、二ねんせいたいかいで、ゆうしょうすることができました。ぼくもしあいにでて、てんすうをきめることができました。とてもうれしかったです。れんしゅうでは、ドリブルがむずかしくてちよつとしかできません。おにいちゃんが、けりかたをおしえてくれるので、がんばりたいです。おにいちゃんたちと、たくさんあいにでて、かつやくしたいです。

やさしいお姉さん

安楽小学校五年

峰松

華

私たちの学童には、やさしいお姉さんがいます。お姉さんは相談にのってくれたり、いっしょに遊んでくれたりします。私たちの学童の五年生は一人です。でも、お姉さんは同級生感覚でいつもいてくれます。だから私は毎日が楽しいです。来年になるとお姉さんは中学生なので、今度は私がお姉さんみたいに相談にのったり、いっしょに遊んだりしてあげたいです。私からしてお姉さんは姉妹です。お姉さんが中学校に行ってもいっしょにいたいです。

Hさんありがとう

森山小学校二年

一木

妃由利

入学したばかりの私は、きんちようとふあんでいっばいでした。一年生が一人だったので、友だちはできるか、上きゅう生のおにいさんお姉さんとなかよくできるか、しんぱいなまい日をおくっていました。そんなとき、六年生だったHさんが、やさしく話しかけてきてくれて、なんにも分からない私に森山小のことをいろいろと教えてくださいました。それから、まい日楽しい学校生かつになつてきました。Hさんは、大すきなお姉さんです。Hさんといっしょにすごした一年間は、まい日がとてもじゅうじつについて、学校へ行くのも楽しかったです。またいつか会っていっしょにあそびたいと思います。Hさんありがとう。

声をかけてくれてありがとうございます。

蓬原小学校三年

上迫 梨央奈

わたしは、むかしなきむしでした。こまったときは、すぐにないていました。けどいまでは、あまりなかないようになりました。そのげんいんをこのさく文に書きました。ある日の昼休みわたしは、一人で絵を描いていました。その日は、わたしの友だちが休んでいるときでした。なので一人で絵を描いていたのです。そのときクラス友だちが一人立っていました。その子は、わたしに声をかけてきました。「ねえねえ、いっしょにあそぼうよ。」と声をかけてきました。わたしは、うれしくてその子といっしょにあそびました。その子がかけてくれた声はいつまでも心にのこっています。声をかけてくれてありがとうございます。

いつもありがとうございます

蓬原小学校四年

吉井 隼平

いつも交通安全パトロールをしていただきありがとうございます。ぼくが、登下校中の横たん歩道にいつも、交通パトロールをしてくださっている方々が三人ぐらいいます。そして交通パトロールをしている人が、いつも「おはよう、おはようございます」と言ってくたさるので、ぼくは元気に学校に行けます。ぼくは、一人で横たん歩道を歩くのは少しこわいし、勇気がいるけど、パトロールの人がいっしょに歩いてくださるので、とても安心して歩けます。だから、ぼくは交通パトロールの人に、「いつもありがとうございます。ありがとうございます。本当にありがとうございます。これからもがんばってください。」と思っています。

野球

野神小学校六年

小牧 晴仁

僕は、野球を習っています。いろいろなことを学びました。バッティングのこつ、投げるときのこつ、盗塁のこつなどのことをおそわりました。バッティングでは、足をさきにつき出さないこと、投げる時は、にぎりかた、足の出すむき、盗塁では、かんとくの指示後、大きくリードをとって、ピッチャーの足の動きを見て走りだすことです。それに、サインも教えてもらいました。それで、試合にも出させてもらいました。なので、このことを練習で直しさらに上を目指しもっともつといいことをしたり、「フラインプレー」と言われるようにがんばっていききたいです。

三年ぶりの発表会!!

有明小学校五年

山本 真衣

私は、ピアノを習っています。ピアノの先生に伝えたい思いがあります。最近まじめに練習していませんでした。先生が三年ぶりにピアノの発表会をしようと聞いた時、私はやる気が出てきました。ぶじに発表会でひけた時は、ほっとしました。コロナでたいへんな中、先生が発表会をしてくれて、たくさんの人の前でひくことができ、とてもうれしかったです。先生、来年もがんばってピアノの発表会に出たいです。先生いつもありがとうございます。そして、これからもよろしくおねがいします。

ぼくのゆめ

山重小学校三年

郡山 颯真

お父さんに農家の仕事のインタビューをしました。ぼくは、野さいは同じ畑で一気に行けると思っていたけどちがいました。作る人や場所、きせつによって作り方もちがうそうです。野さいには、それぞれに合った土やひりょうや温どがあるからです。それを知って、農業は大へんな仕事だと思いました。でも、お父さんのそだてた白さいやキャベツ、えだまめ、さつまいもは、大きくてお店で売っている物よりもりっぱです。もちろん、とてもおいしいから、ぼくの自慢です。ぼくは大きくなったら、お父さんといっしょに農業をしたいです。トラクターのつてお父さんに教えてもらった方ほうで、おいしい野さいをたくさん作りたいです。

私の将来の夢

志布志中学校一年

田中 滯

私の将来の夢にお母さんみたいにすばらしい女性になるという夢がある。私のお母さんは周りをよく見ていて、自分から行動できる。だが、私は自分から行動することがとても苦手だ。理由は自分から行動しようとするといろいろなことを考えすぎてしまい、行動できなくなってしまう。苦手から克服するために自分からどのように行動するべきか、お母さんならどのように行動するのか考えて学校生活を送っている。お母さんというすてきな存在、お母さんというすばらしい女性になること、お母さんに日々感謝しながら毎日を送っていききたい。

声の五文字を伝えたい

志布志中学校二年

小牟田 莉央

みなさんは自分の気持ちを声にしていますか。声にするととっても色々ありますが、私は身近な人への感謝の気持ちを声にしていけたらいいなと思います。なぜそう思うかといったら、特に私自身が人との縁や出会いに恵まれていると感じたからかもしれない。私は今関わっている人や今まで出会った人全員に支えられて今があると思っています。ですが心の中にあるその感謝の気持ちを声に出すのは簡単ではありません。でも、これからは伝えていこうと思っています。そしてこれを世界中の人がすることのでみんなの笑顔が造られていくと思います。「ありがとう」この声の五文字、伝えませんか。

いつメン

志布志中学校二年

野田 ひかり

「おはようございます。いつメンのみなさん。」私の学校では毎朝あいさつ運動というボランティア活動がある。私はそのあいさつ運動に友達とほぼ毎日参加している。一年生の時からだ。一年生の時は、そんな私に先生は挨拶をするだけだった。しかし、二年生になってから「いつメン」という言葉を言われるようになった。私は、その言葉が大好きだ。あいさつ運動ではなくさんの生徒や先生に挨拶をする。挨拶を返してもらえるところらしい気持ちになるが、返してもらえないと悲しくなる。そんな挨拶の大切さを知ることができたのは毎日正門に立っている先生のおかげだ。だから私はその先生に感謝し、これからもあいさつ運動に参加しようと思う。

今までありがとうございます

宇都中学校一年

福元 志季

小二の頃から始めたピアノを今月(九月)いっぱい辞めます。先生にはとてもお世話になりました。どんな時も優しく教えて下さりありがとうございます。先生とお話も楽しかったです。五年間のレッスンもほぼ休むことなく通えました。この習い事を日常でも生かせるようにしたいと思います。あと数回の練習も精一杯がんばりたいです。今まで本当にありがとうございます。

おわりに

昔 子どもだったわたし

わたしも 昔は子どもでした



福田裕生

元気に遊んでは 泣いて 笑って けんかしては また泣いて 笑って
つまずいては 気持ちが悪くと落ち込んで でも また笑って

できることもありました できないこともありました

そこに 努力してみよう という気持ちが 生まれました
少しずつ 少しずつ できるようになって

ほんわか うれしい気持ちに なったこともありました



苦しみを乗り越えたところに 喜びがあることを知りました

悲しみのあとには いつか 幸せが 生まれることも知りました

幸せは 自分でつくっていくものだ と 知りました

大切な人や まわりのみんなをも ちょっぴり

幸せな気持ちにできる人に なれたらいいな と 思えてきました

いろいろなできごとの中で

心がぎゅっとちぢんだり… ぷっくりとふくらんだり…



そういう子どもの時代があって 今のわたしがあるのだと 思っています

昔 子どもだったわたし

そのことをわすれない わたしでありたいと 今も 思っています

編集後記

関係者の皆様の御尽力により、『志の言の葉』（第二集）が完成しました。今回は、市内各小・中学校から選出された百五十一点を掲載することができました。第一集からの主な変更点としては、保護者からのメッセージを募集し、掲載したことです。この『志の言の葉』は、日頃思っていることや感じていることを、今、誰かに伝えたいメッセージとして市内の児童生徒及び保護者に募集をしました。家族や先生、友人や地域の方など、身近な方に感謝の気持ちを伝える作品が多いようです。また、自分の将来の夢を語る作品もあり、まさに、今だからこそ、言葉として伝えたい、残しておきたい言の葉として綴ることができました。

志布志市では、これからも、「きらり輝く三つのおしえ」として、一人一人のよさや「個性の伸長」とその融合の大切さを意味する『煮しめのおしえ』、練り上げることで姿が変わり持ち味が増す「確かな変容」を意味する『つけあげのおしえ』、握る人の温かみや一粒たりともおろそかにしない「感謝の心」を意味する『にぎりめしのおしえ』の具現化を目指し、様々な教育施策を展開してまいります。引き続き、ご理解とご支援をお願いいたします。

最後に、第二集の発行に当たり、ご協力いただいた学校関係者、並びに寄稿してくれた児童生徒及び保護者に心から感謝申し上げます。なお、令和五年度末（令和六年三月）に発行を予定している『志の言の葉』第三集には、地域の皆様方からの寄稿文も掲載したいと考えております。改めてご案内申し上げます。

令和五年三月一日

発行 志布志市教育委員会